

プラスチック資源循環戦略(案)に対する意見の募集(パブリックコメント)について

海洋プラスチック汚染を根源から解決し、減プラスチックを通じて脱炭素社会をめざすため、本案に対して以下の4点を提言します。

1. 熱回収を資源有効利用率に含めない

「資源有効利用率」に加算して「プラスチック資源循環戦略」に盛り込むことは、国際社会に不信感を招きかねない内容です。パリ協定以降、日本も2050年までに温室効果ガス排出量の80%削減を目指しています。2ページ29行目及び9ページ目7行目にある「熱回収によるエネルギー利用を含め」という文言は削除するべきと考えます。

2. レジ袋の廃止まで検討を

3ページの「レジ袋の有料化義務化（無料配布禁止等）」だけでレジ袋の大量消費に制限をかけることができません。問題の根本的な解決を図るためには、レジ袋有料化にとどまらず、「段階的な廃止」を目標としてください。実際にレジ袋配布を禁止している国は多くあり、国際社会をリードするためには、レジ袋の廃止まで検討する施策が必要です。

3. マイクロビーズは完全廃止へ

6ページに「2020年までに洗い流しのスクラブ製品に含まれるマイクロビーズの削減を徹底する」とありますが、この「削減」はあいまいな言葉です。海外では禁止している国もあり、マイクロビーズの製造、含有製品の販売及び使用を禁止することを方針として打ち出してください。

4. リデュースをより野心的な目標へ

8ページのリデュースの欄に、必要性の低い使い捨てプラスチックの廃止を直ちに目指す、2025年までに少なくともこれまで国外に輸出していた量に相当する150万トンの使い捨てプラスチックを削減する、そして2030年までに使い捨てプラスチック使用削減50%以上を目指すことを方針に含めてください。今後は、国内で処理しきれないプラスチックごみを海外に輸出するのではなく、これまで国外に輸出していた量をまず削減することが必要です。